

生涯学習館

30日(金)は館内整理日のため
休館です。

開館時間 平 日10:00～19:00
土・日 9:00～17:00

としょかんパスポート、提出せまる!!

みなさんが一生懸命集めてきたマイルをいよいよ
集計します。合計のマイルが多かったお友だち10名を
表彰します。表彰目指してラストスパート!
たくさんの提出をお待ちしております。



パスポート提出期限

3月24日(土)～3月31日(土)

期日を過ぎると受け付けません。
生涯学習館カウンターまでお持ちください。

第1回「おやこ読書会」



子どものうちに宝物の一冊に出会えるように・・・
出会っておくべき本を知らぬまま大人にならないよう
に、1冊の本を親子で一緒に味わう読書会です。毎月
1冊、司書が良い本を選びます。読書会までに親子で
読んできていただき、楽しく語り合しましょう。

参加対象：小学1年生と保護者
(1年生でなくても参加できます。)

日 時：4月21日(土) 午後1時30分～
(毎月第3土曜日)

課題本：「あおい目のこねこ」エゴン・マチーセン/作
場 所：生涯学習館 ボランティアルーム

※課題本は図書館で用意いたします。

1冊の本から見える、いろんなキモチ。

第62回読書会

日時：3月24日(土) 午後2時～

場所：生涯学習館 学習室1

課題：「ナポレオン狂」阿刀田高 著



新規参加者大募集!!

※課題本は図書館で用意いたします。

絵本を読む会

佐藤英和氏 講演会

優れた書籍出版・出版文化への貢献の見地から、
一昨年新聞社・学芸文化賞を受賞したこぐま社相談
役の佐藤英和氏の講演会です。

『11ぴきのねこ』でおなじみの「馬場のぼるさんの
仕事」についてのおはなしが聞けます。佐藤さんの絵
本への熱い情熱が伝わる講演会です。絵本が好きな
人・絵本に興味がある人は必見!

日時：3月10日(土)

午後2時～

場所：中央公民館



初心者向け けしごむはんこを作ろう

けしごむを彫って素敵なハンコを作ってみませんか?
(全2回)

日 時：3月15日(木)、3月22日(木) 午後2時～3時

場 所：生涯学習館 学習室1

講 師：渡辺むつ子氏

持ち物：カッター(普通のカッターあればデザインカッター)
彫刻刀(なければ持参しなくても良いです)

参加費：300円

古文書講座(中級)

2年間に渡る毎月1回の古文書講座を、来年度も引き続き全12回で開
講いたします。意欲のある方のご参加を心よりお待ちしております。

日時：毎月第2金曜日 午前10時～11時半

場所：中央公民館 視聴覚室

講師：中村章彦氏

※詳細はカウンターまで



◎読み聞かせ会◎

●0・1・2・3歳対象(午前10時30分～)

ブラウンベア(えいご) 3月13日(火)

うさぎのおやこ 3月27日(火)

●幼児～小学生低学年対象
(午後1時30分～)

パパのえほんタイム 3月10日(土)

イトワールの会 3月24日(土)



申込み・問い合わせ／生涯学習館

TEL ☎ 0555-73-1212 FAX ☎ 0555-73-1358

URL 🌐 <http://www.fujikawaguchiko.ed.jp>

E-mail ✉ library@fujikawaguchiko.ed.jp

3月の分館の予定

	開館日	開館時間	読み聞かせ会
大石・河口	火・木曜日	午後3時～6時	13日(河口 4時15分～ 大石 4時45分～)
上九一色	月～金曜日	午後1時～5時	15日(午後3時30分～)

〈わが町の戦後史〉 ～戦中・戦後の記憶をたどって～

富士河口湖町女性交流センター
みずうみ通信



「私の青年期を顧みて」

浅川 外川 武



みずうみ通信エッセイの中に大正七年生れの西湖の方が、その時代は尋常小学校を卒業すると働きの出ましたとありましたが、二年後の大正九年生れの我々の時代もまだその通りで一部の者が高等科へ行く位でした。私も高等科を終えると東京へ働きに出ました。

十五才の春でした。仕事は染色業で、給料は一ヶ月五円とほんの小使銭程でしたが、徴兵検査の年になると急に一ヶ月二十五円になり驚いたものでした。

徴兵検査は故郷の谷村（都留市）で行われ、結果は甲種合格で軍隊に入ることが決まりました。入隊までの八ヶ月間は故郷に戻り、仲間と土方をしたり静岡の人絹工場へ働きに行くなどして体力づくりを計り入営（軍隊に入ること）しました。

部隊は東京麻布八部隊でありました。兵舎は鉄筋コンクリート地下一階地上三階建造りで、その大きさには田舎から来た私は大変びっくりしました。

この部隊の前身は、二・二六事件を起した部隊で総員満州へ移転した後に、新たに編成

された部隊でありました。

入営したのは、昭和十六年一月十日でした。

そしてこの部隊は近衛歩兵五連の中でも近衛師団の一翼をなう部隊でもあり其の任務は禁けつ主守衛と言つて宮城大宮御所を守衛し、その他弾薬庫や兵器廠等の警備が主でした。

三年間の現役も終り、私は除隊となりましたが海軍工廠に就職して、雷電なる戦闘機の製造に従事しておりました。武蔵航空が、富士吉田市で海軍零戦の機体を作り始めたとき聞きましたので申請して、やつと入ることが出来ました。その頃、女子挺身隊と云う名のものと岳麓高等女子学校と谷村高等女学校があり私は、谷村高女の任務となり、早速女子生徒に軍事教練の指導に行きました。二ヶ月程教練に行つた時召集令状が来て、再び入隊することになりました。今度は千葉県の歩兵学校で、この学校は主に下士官以下の兵士、特に現役中に全国の歩兵連隊からの営内居住者（学校に寝泊まりする）営外居住者の集まりで、しかも階級の格差等で良くトラブルが起きたものでした。そうしている内にも戦況は悪くなる一方で、本土決戦に備えての訓練は大変なものでした。

機関銃に下駄を履かせて田んぼの中を引き廻したり、兵舎外の林の中に三角兵舎を造り半分を地下にする。又高い丘に横穴を掘つて防空壕にし、物資や格納庫等にした。しかしそうしている内にも、硫黄島からP61（戦闘機）が襲来してきて、機関銃掃射して行く、本土に三十分しかいられないので何度でも射撃して行つた。田んぼの中の力カシまでも、又B29（戦闘機）は夜となく昼となく爆弾の雨を降らせて行く。海上には艦艇が取り巻いて艦砲射撃をし、全く手も足も出ない有り様だった。そして最後は原子爆弾を投下され、これを契機とし

て、ポツダム宣言受託に依り無条件降伏と云う憂き目で戦争は終わった。

私は無事故郷に帰ることが出来たが、多くの仲間が、南の島や他国の草場の陰で眠っていると思うと生き残った我々が国を復興させるべく、みんなで力を合わせて努力し、苦難を乗り越えて、やつと今の日本の幸せがあると思う。

我が青年期を顧みてこの事実を次の世代に語り継ぎ、あの悲惨な戦争を二度と起きないためにも人と人との絆を大切に日々暮らして行きたいと願っております。

「できることから」

皆さんと一緒に取り組みましょう

二月九日（木）富士河口湖町女性団体連絡協議会主催の「環境行政取り組みについて」の学習会が行われました。

ごみ収集には多額の税金が投入されていることに驚きました。一人が一日に100グラム減量すると町では年間949トンの減量になります。

そこで、私たち一人一人がゴミを減らす努力と意識改革を行なっていきましょう

【減らすヒントとして】

①生ごみの水切りをする
②3Rの推進を積極的に

リデュース（減量化）

生ごみの水切り・マイバック

リユース（再使用）

レンタル・リサイクルショップの利用

リサイクル（資源化）

資源物の分別・エコ商品の利用

町の文化財紹介

いにしえ こ みち

富士河口湖古の小径

割石峠

「かつて、富士吉田市周辺に古代王朝があった！」

そんなロマンチックな話を交えながら、富士ヶ嶺地区にある「割石峠」と名付けられた地名の由来をお話いたします。

この話は「富士宮下家文書」と呼ばれる古文書に記載されている内容で、文書全体を見ると疑問のある部分も確かに多いのですが、おおよその謂れや地名等が符合する事が多いので研究家の間では信憑性はある程度高いのではないかと言われています。筆者もこの古代王朝の末裔が都留市の御正体山（当時は御租代山）に太陽の神（天照大神のお墓ではないかと言われている所）を祀ったとされる遺跡を確認しています。

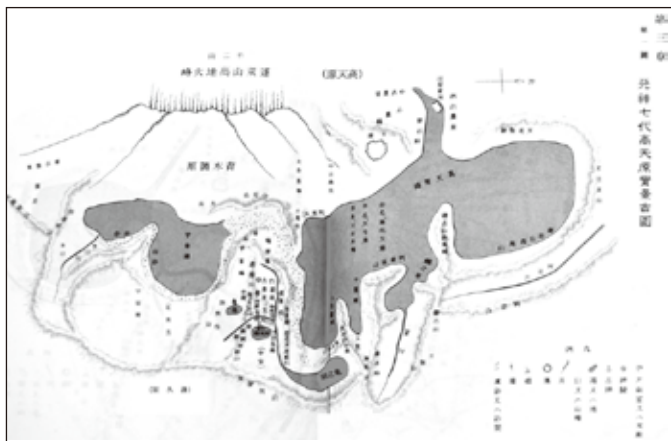
さて、話は元に戻りますが、当時の王朝の年代計算を現代に換算すると約六千三百年から四百年くらい前の時代と言われています。このころの東海道は富士山の火山活動が活発で静岡県の富士市あたりから沼津市あたりまでは道がなく、富士山の北側に大きく迂回していました。外国からの有事（戦争）に備えて富士吉田側から富士山に向って左右に大きな湖を構えた「自然の要塞」と言われる地形を利用してここに首都を置いたのではないかと考えられています。

又、この時代に石炭を燃やして鉄を加工する技術が生まれ、剣や諸々の物を切る器具が作られたと書かれています。他にも竹と人の髪の毛で作られた弓矢や、土器に油を練り込んで焼いて丈夫にしたり、様々な事で産業革命があった時代と言えるでしょう。特に土木技術が向上し、富士山に向って左側にあった宇宙湖の一部を切り崩し、水位を下げて農地

を増やしたり土地の利用度を広げたのですが、右側にあった「割の湖」の水までも減ってしまっただけで、地下のどこかで繋がついていたと考えられています。そのため、割の湖の西側にあった住留家川の水が枯れて困ってしまいました。

そこで、川に再び水を呼び戻すために現在の国道一三九号線の県境付近を切り崩す計画が立てられ、八百萬の神々が工事に携わりました。当時の割の湖はかなり広く、標高は千メートル近くあったのではないかと考えられています。そうすると東側のどこかに水を堰き止める高さが必要になります。この問題を説明できる根拠があれば、当時の地名が符合する事が多く、実際に工事が行われた可能性が高いと言われています。

現況を見てみますと、国道付近を中心にU字型に凹んだ形になっており、国道建設以前には切り崩した様な石がたぐさ残っていたと言われている面影らしい光景は見られませんが、川に再び水が戻り、



よい農地が出来る様になったので、峠の南側を萬農原と名付けたと書かれています。現在、富士宮市に万野原として呼び名が残されていますが、昔は広大な面積であった事がわかります。そして、この大土木工事によって切り崩した所を「割石峠」と名付けたと言うことです。現在は国道一三九号線を南進すると、県境に一番近く左側に小高く見える峠を指します（ちなみに現在の標高は九七八メートルです）。

当時は高天原世天神七代の時代と言われ、工事の元帥となつた国王の名は二代目の国狭槌大神（別名農佐比古尊）、狭い国土を槌を持って開拓したと言う意味で名付けられたと言われていますが、治水に大きく貢献したとして「源水大神」とも呼ばれています。寒川神社の主神として有名ですが、富士山の噴火の影響で神奈川県に移った事が記録されています。郡内を流れる桂川を古くは寒川と呼んでいました。こう書けばなる程と思つて頂けると幸いです。

この工事がどれくらいの工期で終わったのか定かではありませんが、生きるために執念で石を割り続けた神々の完成したときの喜びと。戦後開拓民として入植しながらも二十年近く水道がなく苦労された住民が蛇口から水が出てきた時の喜びを重ね合わせて、富士ヶ嶺には水にまつわる不思議な「縁」があるのです。去年の大地震の津波と合わせて考えると水は愛にもなり刃にもなります。現代人とは違い古代の日本人は自然に勝てない事を謙虚に受けとめ、自然災害を鎮めようとする人格神と調和しながら自然を祀り、畏れ、敬い、感謝を捧げた姿が古文書には残されています。

（富士河口湖町文化財審議会委員 小堂 好也）

富士と湖の 自然をみつめて

Nature in and around Mount Fuji



河口湖フィールドセンター付近でオオコノハズクが確認されました

オオコノハズクというのは全体が褐色～黒色のフクロウの仲間で、休むときには耳のように見える羽角を立ててカムフラージュするそうですが、活動するときには写真のようにたたんでねかせているようです。ネズミや小鳥などを食べ樹洞に巣をつくる留鳥だそうで、冬季にはほとんど鳴かず、フクロウの仲間なので飛ぶときの羽音がしないのでなかなか見つからない鳥で、山梨県の絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。

この写真が撮れたのは1月14日真夜中の3時30分で、どんな動物や鳥がいつ頃利用しているかを知る目的で、昨年秋から河口湖フィールドセンター裏の水場に自動撮影カメラを設置した成果です。毎月月末に確認作業をしていて、12月下旬にはアライグマが2回写っていましたが、すでに県みどり自然課に報告済みの、昨年度都留文科大学の北垣先生が自動撮影されたものと同じ個体と思われます。その他10月から1月末までに撮影された動物はキツネ・タヌキ・ニホンリス(写真には2頭が追いかけている様子が写っていました)・ネズミ類・モグラ類・ノネコで、鳥類としては夏鳥のクロツグミ・オオルリ・留鳥のヒヨドリ・冬鳥のシロハラ・ツグミといった中型の鳥で、小型の鳥は冬鳥のアトリの群れが写っただけでした。

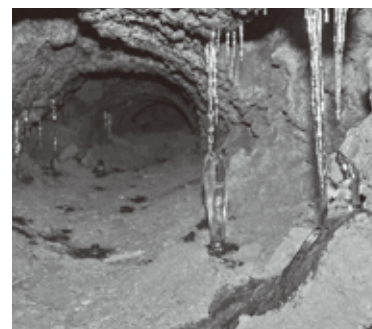


これはセンサーの能力とカメラのタイムラグの問題で、最新型で改良されセンサーが2個ついているのですが、毎日のように訪れているシジュウカラやヒガラなどの小型の鳥類は、近くに止まった時以外撮影出来ません。また、夏に胎内神社でウサギコウモリの撮影を試みましたが、飛んでいる時は、体の一部分が撮れたのが1度だけでした。小型のものや動きの速いものを撮影するのは難しくても、中大型の哺乳類と鳥類はほとんど撮影されることがわかりましたので、動物相と鳥類相を知るための有力な機材といえましょう。同時に、オオコノハズクの記録で74種となった鳥類相や豊富なほ乳類相から、河口湖フィールドセンター周辺の赤松自然林などの生物多様性の高さを改めて感じています。

溶岩樹型内の氷筈やツララ

先月号で剣丸尾溶岩流の溶岩樹型内での氷筈の生長の様子をお知らせしましたが、ここの溶岩樹型内の氷筈は奥のものが全て自然に折れて倒れ、手前にあった72cmの氷筈も根元が細くなり自然に折れてしまいました。その後、大雨の降った2月7日のような温かい日と最低気温がマイナス10度近い寒い日が交互に訪れており、ツララがたくさん出来一部は氷柱になったり、中間の位置に再び小さな氷筈ができてきたりしています。

一方、通称「すずしい穴」と呼んでいる大きな横臥型の溶岩樹型では、例年2月頃から氷筈が大きくなるので、2月11日に見に行きましたら、大雨の次の日に出来たと思われるたくさんのツララと、下から伸びた氷筈が見られ1本は両者がくっついて見事な氷柱になっていました(写真)。これからの寒暖の繰り返しでどのように姿を変えるのか、ここの溶岩樹型内でも氷筈の変化の様子を追ってみようと思います。



ショート・ニュース

- 先月号でお知らせしたモモジロコウモリ(山梨県準絶滅危惧種)と思われたコウモリは、より貴重なテングコウモリ(環境省及び山梨県絶滅危惧Ⅱ類)でした。謹んで訂正させていただきます。
- 船津胎内の様子を描いたとされる五雲亭(歌川)貞秀作「富士山體內巡之圖」(安政5年1858年)の錦絵が入手できました。拡大複写版を展示し、無戸室浅間神社所有・河口湖美術館所蔵の方向で検討中です。
- 3月15日発刊の週刊朝日「世界遺産」シリーズの第3号「富士山」特集で、世界文化遺産候補地と自然の概要が紹介される予定です。

STELLAR THEATER NEWS

教育委員会 文化振興局からのお知らせ

梶原林作基金について、平成23年度助成希望の申請受付を行います。

「梶原林作基金」とは、富士河口湖町地域づくりのために、町民の皆さん、または町に縁のある個人及び団体が行う地域づくり事業に対し、助成を行う制度です。対象となる事業は以下の通りです。

※平成24年4月1日から平成25年3月31日までの間に行われる事業が対象です。

地域の文化振興に資する事業	文化芸術の創作及び成果の発表等
活力ある地域づくりのための事業	個性豊かで魅力ある地域づくりのための事業

受付期間 平成24年3月2日(金) から4月13日(金) まで

助成までの流れ



申請方法 指定の申請書に必要事項を記入し、町教育委員会文化振興局(河口湖ステラシアター内)まで直接お持ち下さい。(郵便、その他の方法では受付できませんので、ご了承下さい。)

※申請書は町教育委員会文化振興局(河口湖ステラシアター内)にご置きます。ご希望の方はお問い合わせください。

お知らせ 本年度の事業助成は今回で終了する予定ですが、助成状況により再度募集を行うことがございます。詳しくは、お問い合わせください。

お問合せ先 町教育委員会 文化振興局(河口湖ステラシアター内) 72-5577(火曜日休館)



★平成24年度 ♪河口湖ステラシアターフレンドリークラブ会員募集♪

河口湖ステラシアターフレンドリークラブ(SFC)では、平成24年度の新規会員を募集します。

河口湖ステラシアター、河口湖円形ホールでコンサートを楽しみたい方は是非ご入会下さい♪

素敵な特典とお得な情報が満載となっております。

★3月1日より
受付中!!

会員特典	★河口湖ステラシアター及び河口湖円形ホールのコンサートチケットの優先予約 ★コンサート情報をダイレクトメールにてどこよりも早くお知らせ! ★チケットの割引(※公演によっては適用にならない場合もございます。) ★富士五湖周辺の観光スポット、飲食店などのご優待etc...
入会金	無 料
年会費	【一般会員】1,000円(1公演につきチケット割引2枚まで) 【ファミリー会員】2,000円(1公演につきチケット割引5枚まで)
会員有効期間	ご入会時から平成25年3月31日まで(年度更新となります)
お申込み方法	ご希望の会員(一般またはファミリー)の年会費をご持参の上、ステラシアター窓口までお越し下さい。窓口にて申込用紙に必要事項をご記入頂き、年会費を添え提出して下さい。場で会員証を発行致します。更新される方は、お手持ちの会員カードをご持参の上お越し下さいませ。 ※郵便振込での登録も受け付けております。遠方に住んでいらっしゃる方など、是非ご利用下さい!詳しくはステラシアターまでお問い合わせ下さいね♪
問合せ先: 河口湖ステラシアター TEL: 0555-72-5588 《受付時間》9:00~17:00 《休館日》毎週火曜日・祝日の翌日	

♥2012年イベント予定♥

平成24年8月: 富士山河口湖音楽祭2012開催(詳細未定。決定次第随時お知らせします)。

5/20 円形ホールにてザ・ブラザーズ・フォア公演決定! チケット好評発売中!

その他、POPS系コンサートや円形ホールでの室内楽など2012年も沢山の音楽イベントを皆さんにお届けします! どうぞお楽しみに☆



♪自然の香りが響きわたる♪

♪優しい音が湖風に舞う♪

河口湖ステラシアター & 河口湖円形ホール

<http://www.stellartheater.jp/>

このページについてのお問合せは、河口湖 ステラシアター 72-5588までどうぞ

